

和地ひとみレポート No.87

平成 25 年東大和市議会第 2 回定例会：一般質問①『新学校給食センターについて』

大きな事業となる新給食センター建設はもっと綿密に計画を！



■市民に有効な施設とするように

…6月4日から開催されていたH25年東大和市議会第2回定例会において、和地ひとみは以下の2つのテーマについて一般質問をおこないました。

① 新学校給食センター建設について

⇒新学校給食センターに市民が活用できる施設を付帯することについて、財政上、衛生管理上の問題を鑑みて現状では考えていないとの答弁を以前頂いているが、他自治体の給食センターの建設計画などについて研究したことはあるか。また、その上で検討の余地はあるか。

② 産業振興について

- ・当市における産業振興の位置づけ、重要度について。
- ・『東大和市産業振興基本計画』について
- ⇒現状の当市の強みと弱みを全体、分野別にどのように考えているか。
- ⇒施策の4つの枠組み(基盤整備、資源整備、人材育成、情報発信)それぞれの課題と具体的なイメージと関係者の関わり方はどのように考えているのか。
- ⇒市民も産業振興の関係者となっているが、その関わり方、呼びかけなどについてはどのように考えているのか。
- ⇒計画の進捗管理について PDCA サイクルを実行するとなっているが、具体的にはどのように進捗を管理するのか。
- ⇒産業振興のキーワードとして「観光」を掲げている。
- 基本計画の9年間で観光をキーワードとして各分野でどのような効果を目指しているのか。
- 2回開催した『うまかんべえ～祭』の結果をどのように具体的施策に活用しようと考えているのか。
- 当市と同じような環境の自治体で観光をキーワードとして産業振興を進めている事例を研究しているか。また、参考になっている、事例はあるか。
- 観光以外のキーワードで当市の産業振興に寄与するキーワードを模索し、検討したことはあるか。

…①の新学校給食センターの建設は当市において、最大級の予算 25 億 3000 万円という大事業。また、数十年間使い続ける施設ですので、昨年第3回定例会でも、新学校給食センターについて市民が活用できる施設を付帯できないかについて質問をしました。その際には、上記のとおり財政上と衛生面の問題でそのような計画はないとの答弁だったため、和地ひとみは他市の事例などを研究し、疑問が湧いたため、再度質問をすることとしました。②の産業振興については今年の3月に『東大和市産業振興基本計画』が策定されたことを受け、その内容についての不明点などを明確にするために質問として取り上げることとしました。

■25 億 3000 万円の根拠は

…まず新学校給食センターに市民が活用できる施設を付帯することについては、新学校給食センターの施設規模等から考えて、他の施設を併設する計画はないとの市長答弁でした。そこで、今回の予算 25 億 3000 万円の内訳について確認したところ、設計費約 4000 万円、建設工事関係費約 15 億円、給食調理の備品購入費約 9 億 3000 万円、個々食器導入のための食器などの消耗品購入費約 5000 万円、工事管理委託費約 1 億 5000 万円と担当者から答弁がありました。

…一般的な住宅の場合、建設費について坪単価のような平均的なものがありますが、給食センターについても平均値というものがわかれば、財政的に市民が活用できる施設を付帯できるのかもわかります。当市の給食センターと同じく昭和40年代に給食センターを建設した自治体は多く、それらの自治体は新給食センターの建設または建設計画を立てています。例えば本年度竣工予定のつくば市の学校給食センター。扱う食数は当市8000食に対し500食多い8500食。また、建設地も市の土地を利用するという点で当市の計画と類似しています。そのつくば市の給食センターにはセンターを見学できる見学通路、市民が給食を試食したり食育の研修のできる研修ルームなどを備えた計画となっているのに、予算は当市のものより約5億円以上低いものになっています。(下記比較表参照)また、現在、新給食センター建設を検討している大阪府豊中市の基本計画資料については、大学の教授などが作成に関わっており、そこで全国の給食センター建設費などの検証が行われています。その全国平均の費用を参照した場合、つくば市は平均並みの金額となっています。(下記、参照)

	つくば市	東大和市
予算	19億2568万円	25億3000万円
食数	8500食	8000食
床面積	3423.99㎡	当市は未定。土地面積と建ぺい率、容積率から計算すると最大3720㎡建設可能

■豊中市の基本計画資料の数字から
8000食の給食センターの全国平均の給食センター建設費は16億1000万円。8000食を作るために必要な床面積は3680㎡とされている。

【次項につづく】

■給食センターの設備が違うのか

…では、当市の新給食センターとつくば市の給食センターの設備が違うのか。土地の面積がぎりぎりの当市の場合、総2階建てにするという意味では違います。また、当市の個々食器の種類は6種類ということもあり、購入費、保管スペースについても違いはあります。しかし、それは一般的に考えて数千万円程度の違い。また、2階部分に調理設備を配置するとしても数千万円、上げ下げをする昇降機についても1台約1000万円というのが一般的です。では、給食センターの設備が違うのか。つくば市の場合、環境に配慮した太陽光発電、食べ残しを発酵処理して給食廃棄物ゼロを目指す設備、脱水処理及び発酵処理で、固形物を水(汚水)と二酸化炭素に分解処理する最新設備も備えています。一方、当市の場合には太陽光発電のみ検討しているという状況。米飯炊飯の設備を作るかどうかはセンターによって違いますが、大阪府豊中市の基本計画は当市と同じく米飯炊飯を行う予定でそこで出した全国平均値は当市の計画の参考に充分なと考えます。

■最小の費用で最大の効果を

…当市の担当者に他自治体の新給食センターを研究したのか確認すると、いくつか見学には行ったとのこと。

最近の給食センターは見学、食育に対応した設備が付いているところが多く見られます。これから30年、40年と長きにわたって使用する給食センターが全国の平均的な設備がついていないというのは、市民、とりわけ子供たちには大きな差となります。また、新給食センターは災害時の炊き出しの基地になる、当市の公民館など公共施設は今後、耐震対策などを行わなければならないところが多いことを考えると、市内で最新の施設となる給食センターに市民が使用できるスペース、また、災害時に活用できるスペースとしてセミナールームなどは必要で有効であると考えます。財政的に不可能という前に、他市の事例を良く研究すべきです。衛生面については設計次第で充分維持されることは他市の設計図を見てもわかります。和地ひとみの検証では、予算的にこれらの施設を付帯することは不可能ではないと考えます。…百歩譲って、そのような付帯施設をつけないのなら、予算は全て使わなくても良いのですから、全国的にみて平均的な費用で新給食センターは建設すべきです。この件に関しては、いつもに増して市長も私の意見に関心を抱いていただけたようです。この件は全国平均の建設費に近づければ、5億円近くの財源の節約が実現できる案件です。今後も議会の場に限らず、給食センターに関する情報や意見は市に提言していきます。

■東京都議会議員選挙の東大和市のみの結果

投票率… 46.71%(前回は59.85%) 投票数…31,587票 棄権者数…36,041人

前回選挙より約8000名余の方が投票を棄権された結果でした。

	候補者名	党派名	投票数
1(当選)	谷村 たかひこ	公明党	8095
2(当選)	北久保 まさみち	自民党	6503
3(当選)	尾崎 あや子	共産党	5448
4	佐藤 広典	無所属	4586
5	野田 かずさ	日本維新の会	3295
6	のぞえ 秀樹	民主党	3212

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思えます。」



【プロフィール】1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。/同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102